

# 分別すれば、ごみは減らせます

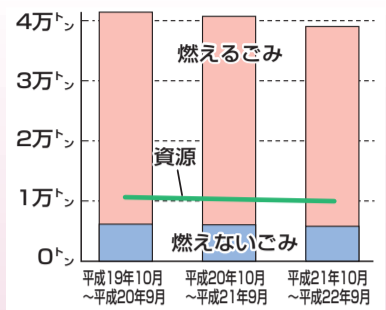
## そのままのごみ、分ければ資源になります

現在、収集しているごみの中には資源化できるものも多く含まれています。例えば、燃えるごみの中には約3割の紙類が含まれ、燃えないごみの中には約5割のプラスチック類が含まれています。

すべてが再資源化できるものばかりではありませんが、もう一度、ごみとして出す前に分別を確認して、資源になるものは資源として出すようにしましょう。

## 平成21年10月1日の分別方法の一部変更の効果

平成21年10月1日からの分別方法の一部変更（ペットボトルのキャップ、カップめんなどの資源化）および分別の啓発効果により、前年との比較では、プラスチック製容器の収集量が、約120トン、約36%の増加、シュレッダーにかけた紙資源は約3トン収集され、燃えるごみと燃えないごみは減少しました。



# 分別に関するさまざまな取り組み

## 分別を理解していただくために、説明会・見学会を随時開催



説明会・見学会は、市で日時を決めて市民の皆さんに来ていただく方式ではなく、要望に応じて開催しています。10人以上の参加者を集め、ごみ減量対策課に連絡をいただければ、日程などを調整して開催します。

### 説明会

市の職員が、ごみの出し方や分別方法などを説明に伺います。会場を用意していただければ、開催日時についてもご相談に応じます。

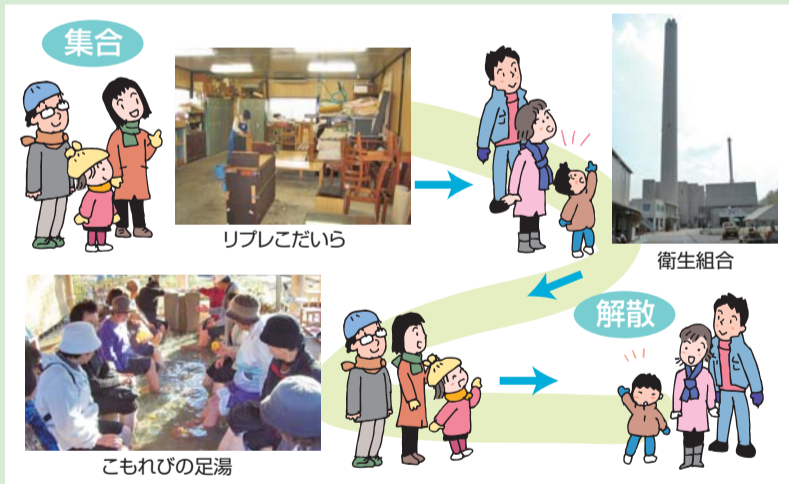
### 見学会

市内にあるリサイクル施設、焼却施設、こもれびの足湯の見学を行い、皆さんから出されたごみが、どのように処理されていくのかを実際に見ていただけます。マイクロバスで送迎を行います（1回の参加人数の上限は20人）。日程は、施設側の都合もあるため、事前に調整を行います。

見学会は、半日単位（午前または午後）での開催となります。

## 見学会の基本的な流れ

集合⇒リサイクルセンター・リプレこだいら見学⇒小平・村山・大和衛生組合見学⇒こもれびの足湯⇒解散



## 分別変更によるごみの減量などを検証するために、食物資源循環モデル事業を実施中

### 食物資源循環モデル事業の状況

昨年の7月からモデル地区（小川東町、津田町、学園西町、学園東町、上水本町の全域および小川町二丁目）で生ごみを有効な資源として回収し、資源化を行う「食物資源循環モデル事業」を開始しました。

平成22年12月現在、23グループ171世帯の参加をいただき、週1回約250キログラムの食物資源を収集しています。

平成22年12月までの累計回収量は、約6.5トンで、その分の燃えるごみが減量されたこととなります。

平成23年度以降も継続して実施し、食物資源の分別収集の市内全域への拡大の可能性を検証していく予定です。

参加世帯の募集も、引き続き行っていますので、気軽にお問い合わせください。



## たい肥化工場見学会

分別収集された食物資源が、どのようにたい肥に資源化されるのを見学する会を開催します。

車中では食物資源循環モデル事業の説明も行います。

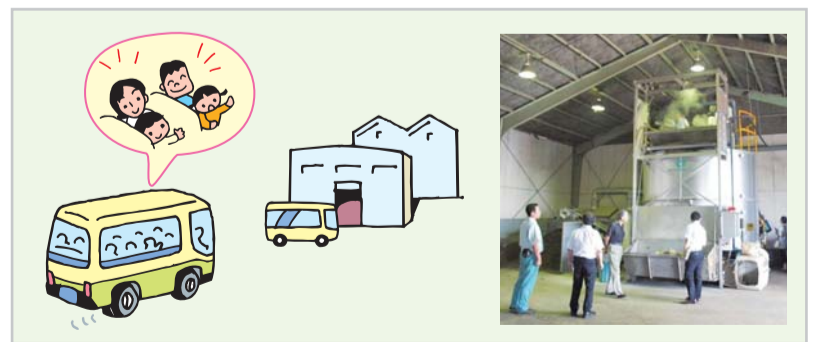
とき 3月16日（水）・23日（水）

※いずれも午後1時から5時ごろまで。

集合 市役所正面玄関

定員 各20人

申込み 電話で、ごみ減量対策課へ（先着順）



## ごみと資源の分別が一目でわかる冊子を配布中

ごみと資源の分別についてまとめた「分別をよりわかりやすく（平成21年度10月改訂版）」は、ごみと資源を50音順に並べ、簡単に分別が確認できます。また、出すときの注意なども掲載していますので、ぜひ、ご活用ください。

配布場所 ごみ減量対策課（市役所4階）、市政資料コーナー（市役所1階）、東部・西部出張所、市内の公民館・図書館・地域センター



## 問合せ

ごみ減量対策課 ☎042(346)9535  
✉gomi-genryo@city.kodaira.lg.jp